

あたかゆき・atacamaki photography

兄妹里帰り展

—あれやこれやの9日間—

Civic Gallery 企画展

入場
無料

会場/
日立シビックセンター
ギャラリー

2026年2月7日(土)-15日(日)
9:00~17:00

主催/
公益財団法人
日立市民科学文化財団

後援/
日立市
日立市教育委員会



あたかゆきの土面づくり ワークショップ情報 粘土で顔をつくってみよう

1月31日(土)
2月8日(日)
各10:00~12:00

↓詳細は日立シビックセンターのHP,SNSにて

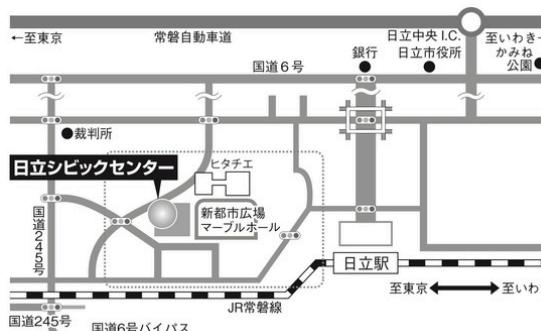
詳しくは www.civic.jp   



お問合せ/申込み

日立シビックセンター
茨城県日立市幸町1-21-1
TEL0294-24-7711(9:00~18:00)

交通のご案内



【電車】JR常磐線日立駅から徒歩3分 【車】常磐自動車道・日立中央ICから8分
【駐車場】地下駐車場208台収容(2時間無料。以後60分ごとに200円。
平日のみ最大料金500円。
無料駐車場はありません。その他周辺の駐車場をご利用ください。

あたかゆき 描画 / 土 造形 妹の人(日立市生まれ)



幼い頃から海や川の水や草木、虫や生き物たちが身近にあった。意識が眠っているような分からないことだらけの子どもだったため、絵を描き文字を書く中でははっきりと自分の目が覚めていることが分かった。10代半ばに土の造形が内側からの表現の一つに加わり、絵と並行して土面や土人をつくり進め、2011年頃から絵と土からなる表現を作品とした展覧会を行なうようになる。アトリエにて紙・布・陶などに描画、土は縄文土偶と同じ野焼きという手法で焼いている。作品展、似顔絵屋、こどもアトリエ講師、音楽と絵のセッションを行なう。今日もつくりかく暮らしの中で目を覚ましている。



atacamaki photography 兄の人(日立市生まれ)



ある日 思い立ち

『拠点を持たず撮影依頼のある土地へ世界各地のどこへでも』と
家無しフォトグラファーとして生きはじめる。
そして不定住が3年を過ぎたころ
大きな湖と小さな森のそばにあるちょっと変わった家に住み着き
現在もその住処から よりいっそう近く遠くあちらこちらへ。
“人の暮らしや生きるそばで瞬間の物語をこっそりと撮る”
そんな写真を中心に フリースクールや少年院での講師業、
音楽、毎日のご飯を作ったりと今日もすこやかに生きている。
作品展等のプロフィールの文章は毎回決めきれずに提出している。

